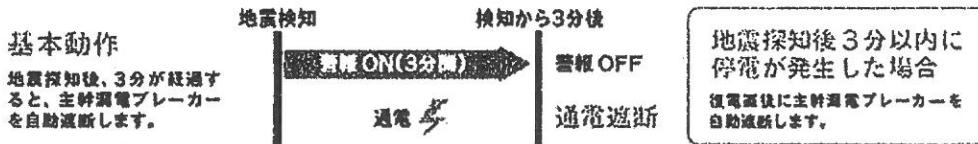


## 感震ブレーカー設置の留意点

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】



感震ブレーカーの設定に際しては、

急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や地中電灯などの照明器具を常備しましょう。
- ※感震ブレーカーの性能に拘らず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、早めから待機対策に取り組みましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- 遊具の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 停電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせることが必要です。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

## 市の補助金について

### 1 補助の対象

感震ブレーカーの設置費用、1世帯1台に限る。

(コンセントタイプは除く)

### 2 補助金額

設置費用の2／3（上限は、1万5千円）

ただし、新築の際、分電盤タイプを設置する場合は、1万円を上限

### 3 その他

H29年度の予算は、200基分

お問合せ・お申し込み  
掛川市役所危機管理課(0537-21-1131)